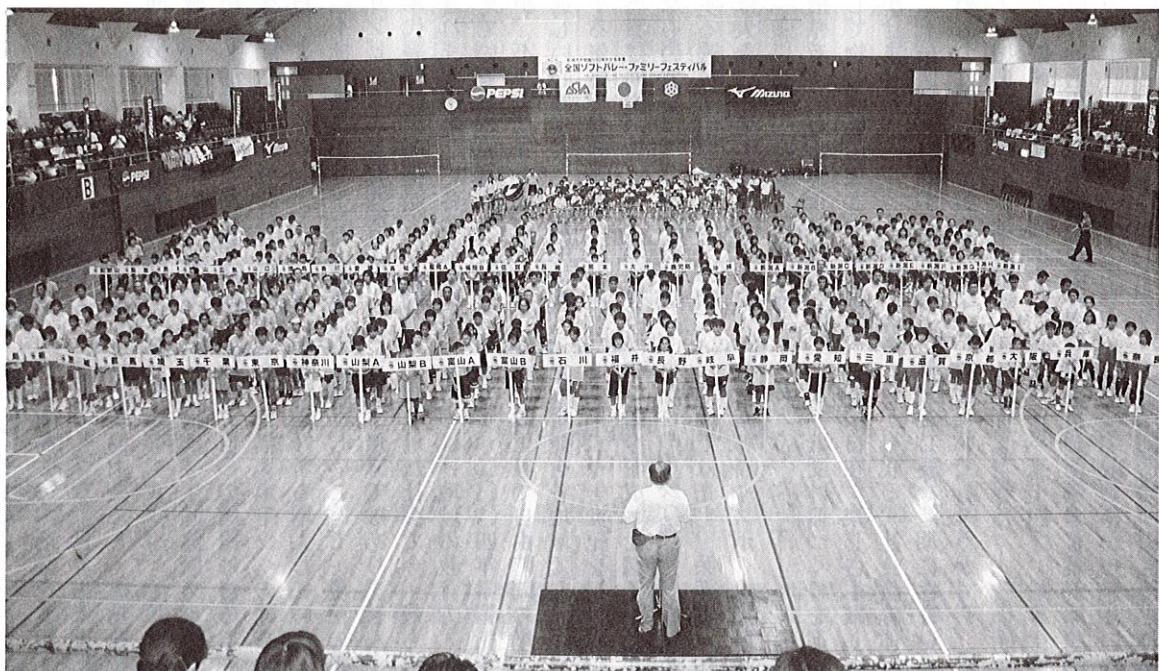


柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近藤康信

印刷所 (株)柏崎インサツ



開会式～全国から54チームが参加～



メインゲート



熱戦を繰り広げる各チーム

第11回全国ソフトバレー・ ファミリーフェスティバル

第1回大会、第5回大会に続き3回目の開催となった今大会が8月4日(金)～6日(日)の3日間、総合体育館を会場に盛大に開催されました。



あいさつ

団長 高橋 保

柏崎体育団長として平成十二年度の役員改選で四期目の重責を担うことになりました。

平成六年の初就任以来、今まで幸いにも多くの立派な役員の皆様に支えられ、その職責をなんとか果たしてまいりましたが、これからも柏崎地方のスポーツの振興に微力をつくしたりと覚悟を新たにしているところです。

このたびの改選では、長い間柏崎体育団を支えその発展、充実に寄与してこられた副団長の佐藤和夫さんをはじめ、何人かの役員の方々がご勇退されました。今までの献身的なご支援と、ご労苦に改めて感謝の意を表したいと存じます。また新副団長には今井元紀さんをお願いしてござ指導を頂くことになりました。

さて、柏崎体育団では今年度も「強いスポーツ選手の育成」、「生涯スポーツの振興」、「財政基盤の確立」を三大目標に据えて諸活動をすすめ、役員意識の高揚と共に、各専門部制も機能して組織の充実も図られておりまます。これからは、各加盟団体の皆さんと協力して目標達成

に向け努力を重ね「意氣、活気、挑戦」、新世紀へ向けて、総力を結集し活力に満ちた体育団活動を展開してまいりたいと考えております。

二十世紀最後のシドニー夏季オリンピック大会の開催も迫り、日本代表選手の活躍が大いに期待されます。厳しい冬の時代を迎える日本のスポーツ界ですが、不遇の選手生活の中에서도逞しい心身が育ち、極限に挑戦する気概で目標達成したときの感激は何ものにも代え難い貴重なものでしょう。国際的に活躍する選手を柏崎からも、の願いは大きいのですがそのためには「強い選手の育成」にかける各指導者の燃えるような情熱、そして物心両面の大きな支援が欠かせません。

二十一世紀に活躍する若人のためにこしたいと始めた「スポーツ振興基金」も当地方のスポーツ振興、競技水準向上のためには有効活用し成果を挙げたいのです。

单一種目では世界最大規模といわれるこの大会を身近なものにするには地元チーム「アルビレックス新潟」の、活躍を支援することでしょう。世界の人達に誇れる新潟大会として成功を祈りたいものです。

現代は「生涯健康スポーツ」時代、自らの健康は自分で守るものと軽スポーツへの関心も高まり愛好者も増大していることは喜ばしいことで、現在の長寿社会と無縁ではありません。この恵まれた社会で今、最も必要なものは「地域の教育力」の復活です。二〇〇四年学習指導要領の改正等で自由時間の増える児童生徒を各地域でしっかりと受け止め二十一世紀を担う青少年の「健全育成」を図ることがこれから重要な課題であります。

地域では先生、保護者、社会教育指導者やスポーツ指導者が一体となった「オープンスクール」のような受け皿づくりを進め、「寛容自在」楽しさも厳しさもしっかり軸る、社会教育体制の整備が必要な時期にきているのではないか。

市民の運動生活、意識調査報告書によれば、今の柏崎はとてつて「スポーツ都市」とは言いつた。それはスポーツの成績も、スポーツの施設も、そしてスポーツの指導者も「スポーツ都市」の名に恥ないものだった。それは柏崎は県下で名だたる「スポーツ都市」ということになってしましました。もちろん団長の命により、柏崎は県下で名だたる「スポーツ都市」ということになってしまった。それは柏崎の成績も、市民の運動生活、意識調査報告書によれば、今の柏崎はとても「スポーツ都市」とは言いつた。あなたは何故スポーツをしないのですか?という問の答えは「忙しいから」との答えが返ってくる。

このような中において体育団の為すべき仕事は指導者の指導だと思う。体育団は仲良しクラブではなく、為すべき責務があるのではないか。



監事 青木正勝 監事 佐藤俊雄 副団長 小林ミツ子 副団長 今井元紀 副団長 植木栄雄 副団長 村山忠利 副団長 曾田恒

新任のごあいさつ

副団長 今井元紀

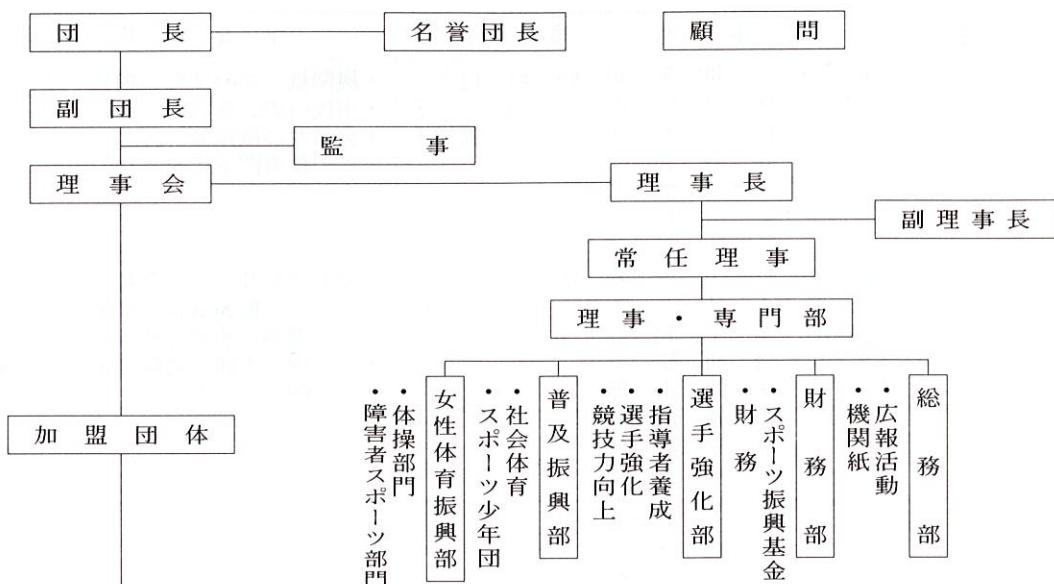


副理事長 植木正一



理事長 近藤康信

〈柏崎体育団組織図〉



理事

小暮洋一（バスケット）	廣川俊男（新潟産業大学）
元井春夫（綱引き）	猪浦修一（ヨット）
佐藤秀樹（中体連）	理事
荒木邦栄（バレーボール）	
田村仁（バドミントン）	
徳間市郎（テニス）	
深井賢一（ソフトテニス）	
有坂瑞夫（獣友会）	
布施俊雄（米峰スキー）	
山川博行（ハンドボール）	

事務局

佐々木琢磨（アイスホッケー）
長瀬 正彦（地区体協）
若月 安明（小体連）
金子 仁（ゴルフ）

常任理事

常任理事	高橋 春一（空手道）
高橋 弘隆（少林寺拳法）	高橋 春一（空手道）
大友 和憲（ラグビー）	高橋 春一（空手道）
矢口 義雄（山岳会）	高橋 春一（空手道）
植木 正一（サッカー）	高橋 春一（空手道）
名塚 治彦（なぎなた）	高橋 春一（空手道）
下條 信夫（ワンバウンドバ	高橋 春一（空手道）
池田 純子（／＼）	高橋 春一（空手道）
藤田 克子（／＼）	高橋 春一（空手道）
名塚 幸弘（／＼）	高橋 春一（空手道）
片山 晃（／＼）	高橋 春一（空手道）
金子 錦弥（学識）	高橋 春一（空手道）

平成12・13年度 専門部業務分担表

部 名		理 事 名		事務局担当		主 な 業 務 内 容	
総務部	顧問 副部長	井瀬 元広 今杵 牧高 岡橋 春琢 佐々 廣名	紀市 幸一 磨久 彦	野 小宮 村 山下	信 久 眞知子	一子	・機関紙「柏崎体育」の編集・発行 ・市民への広報活動 ・会議及び施策等に関するこ ・その他専門部に属さないこ
財務部	顧問 副部長	山村 忠久 小金 林子 浦間 猪徳 修市 布有 施坂 俊瑞 口辺 義正 友村 大中 村子 矢渡 和多 仁夫 春	利幸 弥一郎 雄夫 雄道 憲一 仁夫	猪 小	爪 山	一 郎 黙	・賛助会員及びその会費収支に関する事業 ・スポーツ振興基金の募金等、特別活動資金の調達、運用管理に関するこ ・その他、本団の活動資金及び財源等の確保に関するこ
選手強化部	顧問 副部長	曾星 田野 田暮 木塚 小植 名深 荒池 田山 本佐	恒勤 茂一一 弘一 栄二 仁行 博樹	池品	田英 田克 昭久	・北陸バスケットボール選手権大会の開催 ・強化費の配分やジュニア選手の育成等強化に関する事業 ・指導者講習会の開催 ・優秀選手の表彰に関するこ ・スポーツ医科学室に関するこ	
普及振興部	顧問 副部長	植片 木山 川條 山橋 広下 角高 巻田 中月 瀬	雄晃 男夫 郎隆 馥雄 明彦	猪原	爪一 郎剛	・国際スポーツ交流事業 ・東村山市体育協会との交流活動 ・新春体育懇親会の開催 ・スポーツ少年団、地域クラブの育成 ・市民スポーツの振興事業	
女性体育振興部	顧問 副部長	小藤 渡池 矢丸	ミツ 子子 都子 子子 子子	野 小宮 村 山下	信 久 眞知子	一子	・障害者スポーツとその交流事業 ・市民リズム体操の普及 ・女性スポーツの向上対策

あしあと

1	元朝体操
2	新春体育懇親会
3	「柏崎体育」一三〇号発行
4	県体協新年会出席
5	東村山体協新年会出席
6	女性体育振興部会
7	市町村連絡会議出席
8	優秀体育人表彰
9	女性体育振興部会
10	財務部会
11	選手強化部会
12	常任理事会
13	スボ少委員会出席
14	県体協評議員会出席
15	会計監査
16	女性体育振興部会
17	十一年度第三回理事会
18	女性体育振興部会
19	十二年度第一回理事会
20	スポーツ理事・代議員会
21	委員総会出席
22	加盟団体長・専門部会
23	同会議
24	選手強化部会
25	風の陣
26	県体協評議員会出席
27	常任理事会
28	会議会
29	柏刈スポーツ振興協議会
30	テニス協会東村山交流会
31	ぎおん祭り仁和賀参加

平成12年度一般会計予算

(収入の部)

(単位:千円)

項目	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘要
1 登録加盟金	740	740	0	
2 繰入金	1,200	1,000	200	賛助会計から
3 補助金	1,800	1,800	0	柏崎市から
4 委託料	760	760	0	柏崎市から
5 諸収入	1	1	0	
6 繰越金	1,186	1,413	△227	11年度繰越金
合計	5,687	5,714	△27	

(支出の部)

(単位:千円)

項目	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘要
総務費	1,151	1,131	20	
1 負担金	51	51	0	県体協加盟金
2 会議費	100	100	0	各種会議費
3 涉外費	100	100	0	祝儀、広告、慶弔費
4 給料	450	450	0	事務局職員給料
5 旅費	30	50	△20	
6 消耗品費	170	80	90	事務用品
7 印刷費	40	40	0	
8 通信費	100	100	0	
9 貨借料	10	10	0	
10 専門部活動費	100	150	△50	
選手強化費	2,050	2,190	△140	
1 大会費	100	150	△50	北陸バスケットボール大会
2 表彰費	300	300	0	優秀体育人表彰
3 強化費	1,100	1,040	60	競技水準向上事業
4 研修費	300	450	△150	研修事業補助
5 全国出場費	250	250	0	大会出場費補助 1人3,000円
スポーツ振興費	1,710	1,870	△160	
1 振興費	500	660	△160	スポーツ振興事業
2 市民体育費	660	660	0	各種市民スポーツ大会・教室等
3 スポーツ少年団費	150	150	0	スポーツ少年団育成費
4 交流事業費	400	400	0	東村山市交流会補助等
広報費	550	300	250	
柏崎体育発行費	550	300	250	
事業費	100	100	0	
事業費積立金	100	100	0	
予備費	126	123	3	
予備費	126	123	3	
合計	5,687	5,714	△27	



退伍にあたつて

心・技・体 佐藤和夫

故月橋公さん(前団長・平成9没)はいろいろなお立場でそれにかかる伝記・記録などの本を出版されている。体育関係でも「陸上競技場五十周年記念誌」「体育人・洲崎義郎」「島掛藤次郎先生追悼録」「体育人・今井哲夫」などがある。私は特に「体育人・今井哲夫」の編集出版に深くかかわらせてもらい、当時読売新聞社の松浦孝義さんを東京本社にお尋ねしてご指導を受けた。

その月橋さんが成し遂げられなかつたのが「柏崎体育史」と「坂田四郎吉伝記」である。

「陸上競技場記念誌」には体育史とも言える大正から昭和前半の記述がわりと詳細に記されていることから、これにどう内付けしようか、昭和の後半をどう加えてまとめるかを考えておられた。亡くなられた阿部芳郎さん、吉田好道さんに頼まれたり、今もお元気な小山正造さんからの聞きとりや口述筆記、録音テープなどで記録を残しておられた。そうした中で折に私に「坂田四郎吉先生の本をまとめていいんだよなあ、気になつてんだも」と言ってられた。

四郎吉先生(昭和42没)の亡くなられた後で奥様のハイさん

がご健在の頃そんなお気持ちもあつてか「せめて奥さんに感謝

申し上げねばならん」と昭和六十三年、奥さんに体育団の「功

労賞」を贈られた。

だが伝記をまとめなかつたことは、体育史の未完とともに非常に心残りであったにちがいない。

私は昭和二十六年に市職員に

なつたがそれ以前から地元鰐波

小学校の石黒通夫先生(前柏崎

植物友の会会長)の言動に共鳴

して、体育同人会発足もあつて、

日毎夜毎体育文化活動にとび廻

り、健民少年団活動などを通じて洲崎・今井・月橋・近藤禄郎

(在新潟)さんからも面識指導

をいただいた。

その方々のご指導の中で特に

驚いたことに翌々日川合氏の

奥さん、美江子さんから電話が

あり「昨日息子が小町教育長さ

んから『佐藤さんと逢つて今井

さん、月橋さんのことと父の話を

聞いた」と言つたんで私はび

くりと懐かしさであんたに電話

したのよ」

こっちもびっくりだ。奥さん

もかつて市職員だったが「息子

が今、東村山市教育委員会の指

導主事で小町教育長さんの部下

なのよ」には驚き。長電話になつたが縁は異なるものとつくづく感

られた。私は五代目課長前から月橋さんが言つてられた話に「柏崎の体育を育てたのに三偉人がある。体育の真髓・心・技・体になぞらえれば、心

は洲崎義郎、技は島掛藤次郎、体は坂田四郎吉だ」と。

「洲崎さんの指導者を育てた施策と実践力にその心を。島掛さんの競技者に技術を備えさせた情熱に技を。坂田さんの庶民の健康体育振興にかけた熱意に体を見る事ができる。この三人なくして戦前戦中戦後を通じて柏崎の体育スポーツの今はあり得なかつたのだ」と強く語られていた。

私がそのような柏崎体育の歴史を知る立場に恵まれたのは、四十年間の市職員生活のうち三十一年が健康の保持増進の仕事にかかわり、更にそのうち二十八年が体育課担当であり、それが即体育団書記、事務局長でもあったからだ。退職後五年の

体育施設管理公社在職中も、ぎりぎり残しもあるが、そんな過去世もあって副団長を拝命してい

たが、去年六月脳梗塞で倒れた。という不覚をとつてしまつた。

健康第一とそれを伝えることを仕事として来た男として言行不一致、なんども不名誉この上な

去もあり残しもあるが、そんな過去世もあって副団長を拝命してい

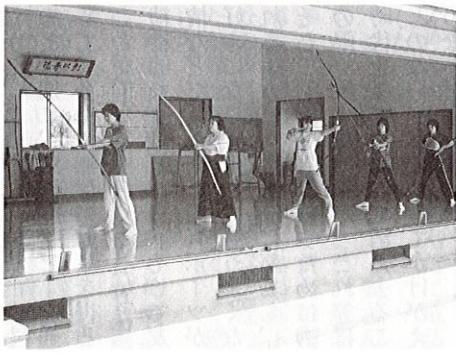
たが、去年六月脳梗塞で倒れた。という不覚をとつてしまつた。



さがみん柏崎祭り
たる仁和賀

神輿に初挑戦

リズム体操新三階節(ピッタガラ)も初参加



今年度は午前・午後・夜の部の三回に分けて行ったところ、スポーツを楽しむ、体力維持、友達づくり、ストレス解消、そして弓道の袴姿にあこがれて、等々違った目的で弓道教室を受講されたようです。

そんな中で特筆すべきは市内初の柏高生による同好会の誕生です。弓道連盟では同好会が県高体連で活躍出来るよう育て、応援してまいります。

充実の弓道教室終わる

赤岩ダム建設の中、谷根新道の開道、山頂俯瞰図盤建設、市政功労者受賞、山小屋根山荘の建設など、今後もより安全で楽しい登山を、めざして行きたいと思います。

弓道連盟

事業計画

平成12年度下半期(9月~3月)

8・31 「柏崎体育」一三二号発行

9・23~25 第48回北陸バスケツ

10・21~22 トボール選手権大会

12・3~4 ソフトテニス連盟

東村山へ遠征

1・19 新春体育懇親会

「柏崎体育」一三三号発行(全戸配布の予定)

2・3 優秀体育人表彰

※ 第六回指導者講習会

(日程は未定)

理事会・専門部会等随時開催

体育団事務局

①教育委員会体育課内

TEL 21-2362
FAX 23-0881

②柏崎市武道館内(事務担当:宮下眞知子)

TEL 24-6741
FAX 24-6741